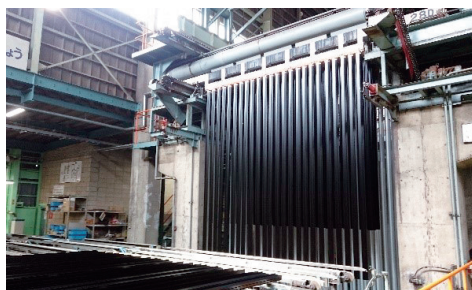


## 安田金属工業株式会社

感謝の心を込めて考動  
継続的な顧客の満足を得る

納期  
相談  
企画力  
自信有  
オンリー  
ワン技術  
メイドイン  
ジャパン  
試作可  
小ロット  
量産  
対応



押出(左上)、アルマイト(右上)、後面(左下)、製品自動倉庫(右下)

## 主な事業内容

アルミニウム押出・表面加工  
(アルマイト処理)製品の製造・販売

## 主な取引先(納入先)

安田、サンレール、  
MINO、橋本軽金

## 主な製品

建材FA(ファクトリーオートメーション)フレーム、  
事務備品・パーテーション部材

業務内容  
お客様が望むアルミ  
製造で販路拡大を実現

1960年代中頃、新建材・アルミサッシの登場で主力製品の戸車レールの受注が減少。そこで、安田金属工業は、ラス(金網の一種)の製造を開始したが、難局打開は困難だった。

転機は昭和43年のアルミニウム製造への参入だ。新用途に使われ始めた当時のアルミ市場は、需要に見合った供給ができていなかった。設備を整えた矢先に、オイルショックによる不況に見舞われた。そんな中でも「同業他社がやれない、したくない仕事を精いっぱいすること」をモットーに一途に仕事に取り組んできた。現在もその思いを胸に、さらなる信頼獲得をめざしている。

強み  
「顧客の立場に立つ」  
ことが強みを作る

「常にお客様の立場で考える」を強く意識した仕事が同社の強みをつくっている。同社のものづくりをけん引する岡崎登岐阜工場長は「何をするべきか、何をしてはいけなかが自然と見える。そのうえで常に我々ができる最大限の力を発揮することが、私たちの生き

がいであり喜びだ」と力を込める。

こうした観点から、顧客との接点となる営業部門の強化にも力を入れてきた。安田立明社長は、「お客様には遠慮なく何でも言ってほしい」という思いを掲げる。こうした姿勢が生産工程にも好影響をもたらし、業界の繁忙期でも顧客が安心して注文できる体制を構築している。

地域貢献  
社員支援と地元貢献の  
充実で頼りになる会社

物的資産(資本金・土地・設備)よりも、知的資産(「匠」の工夫・提案営業・特化した納期対応・支える人材)の充実に重きを置き、信用力を高めネットワーク力を強化してきた。そのために、社員やその家族を支えることや地域貢献にも力を注いできた。社長から社員の誕生日はケーキを贈り、子どもの小学校入学時にはランドセルをプレゼントする。地元小学校の児童を招いた餅つきや、災害時の避難場所として社屋を利用できる取り組みが続いている。地域に根ざし、どんなときでも頼りにされる会社をめざす。

## 社長あいさつ

代表取締役社長  
安田 立明さん

当社は昭和9年の創業以来、アシパネマークに込められた創業者の理念を受け継いでいます。材料屋として、お客様のために「必要な材料を必要な時に、良い状態でお届けする」。当たり前のことを当たり前にできるように、やり続ける。そのために全社員一丸となり、取り組んでいます。

## 主な保有設備

- 7インチ押出プレス(1,800t)  
宇部興産製2機
- 6インチ押出プレス(14.5MN)  
SMS社製1機
- アルマイト設備  
(製品長6,220mmまで、30t/日)  
1ライン
- 製品自動倉庫  
(4Mパレット996個収納可能)  
1棟

全国  
02 ISO 9001

住 所／〒542-0081  
大阪市中央区南船場1-11-9  
長堀安田ビル

T E L／06-6262-0692

F A X／06-6262-0697

創 業／昭和9年9月

設 立／昭和14年9月

資本金／7,680万円

従業員／115名



餅つき大会で工場の地元に貢献



社員の子どもにランドセルを贈呈



<http://www.yasudametal.com/>